

第7回岡谷市基本構想審議会

会 議 録

【出席者】

○委員(13名)

太田博久 委員、太田深穂 委員、小口泰史 委員、上沼隆弘 委員、小林妙子 委員、
齋藤博子 委員、高見澤恒子 委員、武田彰 委員、林幸夫 委員、中村進 委員、
新田隆史 委員、山崎舜次 委員、横内文雄 委員

(※欠席者…今井誠 委員、笠原新太郎 委員、唐澤剛 委員、薩摩健 委員、
中畑聖二郎 委員、中山昇 委員、中村文明 委員、

以上7名)

(五十音順)

(事務局)

企画課	部長	岩垂俊男
	課長	岡本典幸
	副技監	山岡泰一郎
	統括主幹	松村佳江
	主幹	宮坂征憲、味澤勝一、秋山仁志、野田康裕
	主査	新村尚志
	主事	水澤優馬

計23名

第7回岡谷市基本構想審議会 会議録

平成30年11月1日(木)
午後2時00分～午後3時30分
市役所8階 全員協議会室

1 開会

市民憲章唱和

2 会長あいさつ

3 議題

(1) 第5次岡谷市総合計画(諮問案)について

会長	資料について事務局から説明をお願いしたい。
企画課主幹	<資料1 について説明>
会長	<p>改めてお気づきになった点、審議の中で言い落とした点などについて、ご意見などいただきたい。</p> <p>最初に、第3回審議会で議題とした「1 序論」と「2 基本構想」の「(1) 将来都市像から(4)まちづくりの基本目標」までについて意見はあるか。</p> <p>回を重ねるごとに少しずつ理解できた。この基本構想の3ページにあるピラミッドの中の基本構想から基本計画については、最終的に具体的な細施策まで見えないとなかなか主な部分が理解できないと皆さんの意見を聞く中で感じる。市民がわかるような形で、「基本計画は10年後を見た基本的な考えであって、具体的な施策は個別計画にゆだねる」という文言があってもいいのではと思った。</p>
企画課長	市側とするとそういうイメージで作っているが、審議委員の皆さんも理解しづらいとの意見があったので、いただいた意見のような記述を加えさせていただいて、皆さんに理解いただくようにしていきたい。
会長	<p>続いて、第4回会議で議題とした、基本目標「ともに支えあい、健やかに暮らせるまち」と「未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち」について意見はあるか。</p> <p>議事録を拝見して、出ていない部会のほうで、委員さんからコレクティブハウジングということを発言していた。そういうことが岡谷でも目の前に来ている状況なのか。</p>
I 委員	住んでる地域を見ても、要介護者になると家を離れて空き家になってしまふ。そこが発端で、共助のまち、緩やかに支えあうコミュニティを目指す住まい方だと思う。いろんなパターンの住居を用意して、半共生的な、例えば月1回はみんなで食事をしようとか、子どもを見てもらいたいときには1人暮らしの高齢者にみていただく等、いつもどこかで顔を合わせるようにする。遠くの親戚より近くの他人のような考え方。今は昼間でも顔を合わせる事が少ない。行政の方でもコミュニティに対しては事業を行っていただい

	<p>るが、参加する人も限られてしまって、そういう人達が地域を作ってくれているが、次の世代に繋がるかというところではない。インフラも整備されたところにそういった考え方の人が住めるものを作っておけば、人は変わっても建物は残るので住み続けられるまちになる。保育の関係についてもいろんな事業があることは知っているが、うちの中で助け合えるような、家族的なもの。そういったつくりのものがコレクティブハウジング。まだまだ10年間では実現はないと思うが、検討してもいい時代に来ていると思う。</p>
会長	<p>60 ページから 61 ページにある子育ての関係部分ということになるのか。</p>
I 委員	<p>それに高齢者の健康寿命を延ばす生きがいのようなもの、住み続けられるような。</p>
会長	<p>続いて、第5回会議で議題とした、基本目標「人が集い、にぎわいと活力あふれるまち」と「安全・安心で、自然環境と共生するまち」について意見はあるか。</p>
G 委員	<p>45 ページの基本目標の中、103 ページの主な取り組みに組織、装備の強化について記載がある。消防装備については、とても古いものもあるので重点的に取り組んでいただけると助かる。なるべく早く新しいもの、強化をお願いしたい。質問ですが、統合の問題については5年の間は触れていかないとのことだが、重要な問題。もしかしたら流動的に問題にあがってくるのでは思っている。また、団員の確保で、地域、事業者、学校と協力と記載あるが、肝心の岡谷市という部分がなぜ入っていないのか。</p>
企画課長	<p>担当不在のため認識の中で応えさせていただく。今の段階で市側から統合という話はしづらい。団と相談する中でそういう話が出れば検討していく。103 ページの消防団組織の強化に市の記載が無いという部分は消防にも話をして、検討をしていく。</p>
G 委員	<p>地域、事業者、学校ということに重きを置いていて、市のほうで対応をされていないのではという危惧の部分があったので質問した。もう一つ、103 ページのK P I「消防団団員数」について、若い団員を増やしたいとある。これについて、11 個分団あるが大変苦慮している。今現在、なにか方法、施策みたいなものがあってここに記載をしているのか聞きたい。</p>
企画課長	<p>消防と話している。団に入っただくということについては、これといった施策がない。消防団員の高齢化という面では、有事の際に心配ということもあるので、若い人も入れていきたいということもある。若い方たちに P R をしながら入っただくような取り組みを進めていきたいという話は聞いている。</p>
G 委員	<p>消防の一番の魅力はマンパワー。人数が減ってきて、マンパワーがいかなせない団体になってはいけないので、若い方、元気のいい方が回りにいたら声をかけていただきたい。</p>
D 委員	<p>今の消防団の募集に関連して、市民は消防団に対するイメージがいまいちわからない部分がある。若い人達には伝わっていない。子どもがいない世代はわからない部分があるのではないかと思うので、ポンプ操作のワークショップ的なものがイベントでできたりとかしたら、身近に感じられて興味も引け、活躍したいというかたもみつかるのでは。</p>

G委員	消防団はPRが上手くない。なかなか人に対して伝える方法がない。PRの方法、いかに市民の皆さんに広める方法を検討していきたい。
S委員	109ページのKPIについて、不法投棄の件数を17件から10件にしていこうということだが、目標落としすぎという意見があった。実際にはゼロ件にしたい。だが、全員が環境について意識しているとは限らない。岡谷以外から来て捨てる人もいるので、10件というのは適当だと思う。なんとかしていただきたい。燃やすごみの量については、ゴミ処理場ができるのに合わせて策定した目標だと思う。実際には湖周クリーンセンターができて2年経つが、そのままの目標を使っている。ゴミの減量については限界が来ている。岡谷があまりにもきつすぎる。これをなんとか湖周の方と相談してなるくならないか。
企画課長	ゴミ処理の基本計画に基づいて数値を載せている。この部分についてはゴミ処理基本計画の見直しがあると思うので、そういったタイミングもあると思う。担当と話をさせていただきたい。
会長	再考していただいて、数値が変わる可能性もあるのか。
企画課長	審議会で出された意見に基づいて庁内で検討していくので、答申をいただいた後には修正できるところは修正していくので、数字については変わる可能性はある。
会長	続いて、第6回会議で議題とした、基本目標「快適な生活を支え、住み続けたいまち」と「みんなでつくる、確かな未来を拓くまち」について意見はあるか。
各委員	<特になし>
会長	全体を通して意見等ありましたらお願いしたい。
各委員	<特になし>

(2) 答申に向けたまとめについて

企画課主幹	<資料2 について説明>
部会長	答申書の作成について、まとめ方は正副会長に一任という形によろしいか。
各委員	<意義なし>
会長	まとまりましたら、事前に委員に送付し、確認をしていただくということによいかな。
企画課主幹	第8回基本構想審議会では答申という形になるので、それまでにできるだけ早急に送付させていただき、必要な調整を図っていく。

(3) その他

会長	その他ということではなにかあるか。
各委員	<特になし>

会長	時間が予定よりも早く進んだので、この際、折角の機会ですので、皆さんから審議を通じての感想などをお伺いしたいと思う。
A 副会長	皆さんから出していただいた意見について、きちんとした形でまとめる作業を正副会長で行っていく。できるだけ早く示せるように努めていく。また意見がありましたらできるだけ反映したものにしていきたいと思うのでご意見をいただきたい。
D 委員	普通の主婦をしていたので、審議会の存在すら知らなかった。いい機会になった。審議会を行う中で気になったのは、審議会が始まってから市長が一度も顔を出していただけなかったこと。生の声を聞いていただきたかった。
E 委員	立場的に産業の振興が一番に考えている。工業担当には工業活性化委員会がテクノプラザで行われている。商業に関してそういったものがない。それを作っていないと、外貨を稼いでくるのは工業だと思うが、その稼いだお金を市内で使う形にもっていかないといけないと思う。外部からも商業活性化委員会でもってお金を稼ぐという形にし、最終的にはサービス業につなげていただいて、岡谷市内でお金を使うという形にしないと市の財政が厳しくなる。商工会議所は、岡谷市内で動いている企業を活性化して産学官金で取り組んで行う部分の中で行政ができない部分をフォローアップしている。商業活性化委員会を作ってもいいのでは。個人的な意見になるが、中央通りについてまったく進んでいかない。市民の皆さんも、まちなど真ん中が田舎という形では、満足する住みやすいまちにはならないのでは。いつまでもあのまま野放しにしておくことは納得ができない。常に企画で考えていただきたい。市民の皆さんからもそういうところから見られるのでは。
G 委員	非常に素晴らしい会議であると感じた。資料が見にくい。もうちょっと分かりやすい資料にすれば意見が多く出たのでは。コンパクトにまとめすぎではしよった部分があると思った。 消防という組織にいて、新しい消防車が入ってくる。新しい装備ただけていることに感謝している。
I 委員	資料の中の岡谷市まち・ひと・しごと総合創生人口ビジョンで統計の部分を見ながら、岡谷市の暮らしにくい点というところが気になった。住んで住み続けたいまちというのは、都市基盤がしっかりしていることはもちろん、コミュニケーションや共助、互助のような人のつながりが大切なのではないかと思っている。 コレクティブハウジングについてどこの場で発言して賛同者を集めていったらいいか教えていただきたい。
J 委員	学ぶことが沢山あり、とてもいい経験をさせていただいた。いろいろ見せていただく中で保育は変わってきたと思う。若草保育園についても昔は多かったが今はすごく少ない。少子高齢化を感じる。子供が多かった時代は活気があった。これからどういう保育になっていくのか危惧される。 これからは、地域のコミュニティに出ていただける人はいいが、出ていただけない人が問題。少しでも気分転換ができる場所、小さなことからでもそういう場から広がっていったらいいかと思う。老人は元気であっても近くの公民館までも来れない。そういったときに福祉タクシーを老人同士で乗り合ったり。老人が増えてくればそういったところの問題も出てくる。シルキーバスも路線を増やしてほしい等の意見も聞く。未来の子供たちにとって住みやすいまちになってもらいたい。

S 委員	各委員さんの意見を取り入れて文章化することは大変。これを実際に実行していかなければいけない。来年からの行政でいかしていただきたい。お願いしたい。
R 委員	この審議会に出れたことにまずはうれしく思っている。製造業をやりながら、いろいろな役を経験してきて、知識としてはあるつもりでいたが、いざ審議会に出席してみるとどの位いかせたか疑問に思っている。少し気になったのが、今回の計画は簡素化して分かりやすくしたいということを知ったが、簡素化しすぎると逆にわかりづらい。そういったことを踏まえながら審議会に出た意見を上手にまとめていただいて、わかりやすい計画にさせていただきたいと思う。
Q 委員	<p>地域のため、人のために長い視点で活動していただきたいということで勉強させていただいた。少しわかりにくい点があったように思う。会社の経験からすると、長期のビジョンのようなものが強く押し出されてもいいのではと感じた。理念的なものが入っていて、それを受けて各計画に展開されていてもいいのは、今ある計画、考えをこの計画に盛り込むのではなく、「なりたい岡谷」が入っている計画でもいいのではと思った。会社でも会社の理念の下に長期の理念、長期の計画があるので、「こういう風になっていきたい」といった会社が多い。この審議会もそういった点で議論の時間が多く取ればいいと思った。役になるのはめんどくさいといった風潮がまだまだある。それがどうしたら参加していただけるようになるか。意欲の高い人を中心に輪を広げていくような取り組みがあってもいいのかなと思った。</p> <p>少しでも協力できることがあれば、今後も活動していきたい。</p>
N 委員	金融機関はマイナス金利、稼げなくなっているというが、これは全て人口減少が先に見えているため。これは金融団だけではなく皆さんにも影響が出てくることなんだと審議会を行う中で感じた。市にしわ寄せが行きがちだが、行政だけでは無理なのかなと思う。市民の力を借りないと実現できない。そういう面でいうと市民にどういう風にアピールしていくのか。市民一人ひとりが現実にとらえないと折角作ったこの内容も無になってしまうと感じた。委員20名だけではなくて市民が傍聴できるようにするとか、どういう風に作られているのかわかるような取り組みもあったほうが身近に感じられるのではと思った。
L 委員	本来であれば、労働組合の連帯感をもっと準備してきて参画すればよかったと反省している。教職員の働く環境についてしか発言ができなかったが、さまざまな働く人が気持ちよく働けるためにはという視点で意見を出せばよかったと思う。市外の人が岡谷市の企業に勤めたくなるような市になればと思う。
B 副会長	岡谷市のこれからの方向についてみんなで考えていかなければいけないと思った。諏訪市からも遊びに来る人もいる。この状態を続けて。この計画が10年間続いていけるような災害のないように祈っている。近所の皆さんを巻き込んで市に協力していきたい。
会長	区長会の会長ということで委員を受けた。十分にできたかはわからないが、区を任されているということは区民がいて、区民が市民になるということになる。区長になり、26くらい役を持っている。今から考えれば区というものの自体が市民が安全に過ごせるような環境を作ると考えるとそういう役になるかなと思う。4年間区長をやってきて思うのが、市の方からいろんな資料をいただき、計画書についてもたくさんいただく。全部読んで理解するという

のは大変な作業。せっかく苦勞して作ったものが市民にどう伝わっていくのかが大切。読んでもらうにはどうしたらいいか。隣組に全部配布するとか。どういう風に表現して、市民に伝えていくか。そういった部分についても検討していただきたい。

三沢区でも少子高齢化が問題。何年後かには完全に若い者が居なくなる。福祉の方について一番安全に過ごせるのはなにかといつも考えている。自分も5年先には後期高齢者になるので、そのときにどういう地域あって欲しいかを考えて取り組んでいる。それが区を中心に団体の方々が絡んで、市の指導をいただきながら進めるのがいいと思っている。一つ事例を挙げたいと思うが、発想したことを瞬時に行動していくことが大切。この前の区長会で役員が4人おり、市の役を交代で行っている。123 ページに区会議員の女性比率と記載がある。区長会に市の職員にきていただいて話をいただいた。一人の区会議員が大事だと思ったことを言葉に出したことで実現した。もしその発想がなければなかったこと。何が重要かということ発想したことを瞬時に行動に移すということ。例えば介護の部分については市のほうでも介護保険でも間に合わないという状況になっている。そういう時代になっている。自分達がまずやらなければいけない。区民が市民になって岡谷市に参画するということだということをお互いに話している。輪を少しずつ広くして、人に頼るのではなく、まずは自分で自助努力をしながらみんなで支えあえるようなことが上手く絡み合えば岡谷市がいい方向にすすむのではと思った。ターミナル的になる行政と協力して推進していくということが大切だと思っている。各区で歴史、大きさに差があるので、一概にいいとはいえないが、こういう事例があるということで情報共有をしている。みなさんそれぞれの立場で意見を出していただいて大変勉強になった。任期があるので交代はしていくが、岡谷市民であることに間違いがないし、外部に対しては誇りの持てる市でありたいと思う。

E 委員

岡谷商工会議所としてPRさせていただく。11月17日に小口太郎生誕120周年と琵琶湖周航の歌100周年を記念して大イベントがある。お声がけしていただいて、多くの方に参加していただきたい。

Q 委員

計画ができた後に市民に説明する場はあるのか。折角の機会であるので思いが伝わるように直接発信できるような場があればいいのかなと思った。いい意見ばかりではないが、関心度の高い人が来る可能性もあると思うが。

企画課長

冊子で全戸配布は厳しいが、ダイジェスト版で全戸配布していく。市長が毎年市内5ヶ所で市政懇談会を行っている。計画ができたときには時間が限られているが、内容を説明させていただく。シルキーチャンネル等で報告も行っていきたいと考えている。

Q 委員

積極的にPRして、完全じゃなくても、思いをもって作ったことを直接発信できるような機会があればいいと思った。

会長

部長何か一言ありましたらお願いしたい。

企画政策部長

これまでかなりタイトな日程で都合をつけていただいて参加していただいた。貴重なご意見をいただけたことに感謝する。これまでいただいた意見、最後に1人づついただいた意見については考えさせられ、これからの市政運営にもいかして行かなければという意見をいただいた。計画については作ることが目標ではなく、いかに計画に沿って具体的に事業を進めていって結果につなげていくことが大切だと思う。計画策定後、それぞれ事業を進めていくが、その実行についても引き続きご意見をいただく中で事業等も見直しを

会長	し、より良い姿にしていかなければと思っているので、引き続きご協力をお願いしたい。審議時間が少なかったことについては申し訳なかった。次回計画策定の際にはもう少し余裕も持って行きたい。 他に何かあるか。これで議題について終了とさせていただきます。
-----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 閉会

B 副会長	重要な案件について慎重な審議ありがとうございました。次回は今までのご意見を参考に答申となる。以上で第7回岡谷市基本構想審議会を終了とさせていただきます。
--------------	------------------------------------------------------------------------------